

我がまちスポーツ推進事業

山口国体開催記念サイクルフェスティバル2014

第3回 西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

ジュニア自転車体験教室

チャレンジ・ザ・バンク in 防府競輪場

主 旨

2011年の山口国体において、防府市で開催された自転車競技トラック種目を地域に根ざしたスポーツとして振興発展を目的とし、次世代のアスリートを発掘していく。

主 催

防府市 防府市体育協会 山口県自転車競技連盟

後 援

山口県 (公財)山口県体育協会

協 力

(一社)日本競輪選手会山口支部 (公財)JKA競輪競技実施事業本部中四国支部

山口県ジュニアサイクルスポーツクラブ

地域密着型クラブチーム EsperanceStage

期 日

平成 26 年 11 月 15 日(土) ・ 16 日(日) 2日間

場 所

山口県防府市国分寺町8-2 防府競輪場(周長 333.333m)

日 程

15日(土)

●ジュニア自転車体験教室

8:00～ 8:30 スタッフ・講師受付

8:30～ 9:00 参加者受付

9:00～ 9:10 開講式

9:20～10:00 自転車の装備品、取り扱い、乗り方、競技の説明

10:10～11:00 実技練習① (スラローム、一本橋など)

11:15～12:00 実技練習② (バンク体験走行)※雨天時は、ローラー体験

12:00～12:15 閉講式・記念品配布・記念撮影

●第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

- 9:30～11:30 役員・選手受付
10:00～11:10 公式練習
11:30～12:00 監督会議・開会式
12:30～13:45 フライング・ラップ(200m)
14:15～15:15 ポイント・レース(Aクラス 24km、Bクラス 20km、Cクラス 16km)
15:45～16:45 エリミネーション
16:45～18:00 公式練習
18:00～19:00 宿舎移動・夕食

16日(日)

●チャレンジ・ザ・バンク in 防府競輪場

- 11:00～12:00 バンク体験走行(競輪選手と一緒に周回練習)
13:00～13:30 500mタイム・トライアル ※ロード・レーサー可

●第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

- 7:00～ 8:00 公式練習
8:20～11:00 インディヴィデュアル・パーシュート(A・Bクラス 3km、Cクラス 2km)
12:00～13:00 スクラッチ・レース(Aクラス 10 km、Bクラス 8km、Cクラス 6km)
13:30～14:40 タイム・トライアル(1km)
15:30～16:00 表彰式・閉会式

競技種目及び参加資格(定員・参加料等)

●ジュニア自転車体験教室

- (参加資格) 小学生以上高校生以下のスポーツ自転車の初心者
(定員) 先着 30名
(参加料) 無 料

●チャレンジ・ザ・バンク in 防府競輪場

- (参加資格) 小学生以上の健康な方で、スポーツ車を各自持参できる方
※トラックレーサー・ロードレーサー・クロスバイクに限る
(定員) 先着 30名
(参加料) 無 料

●第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

- (参加資格) 2014年度(公財)日本自転車競技連盟およびUCI加盟国で競技者登録をした男女。
(参加制限) 参加者はオムニウムの全6競技に参加すること。
(定員) 72名
(参加料) 5,000円

参加申込

●ジュニア自転車体験教室

住所・氏名・緊急連絡先・生年月日・身長を記入して防府市体育協会事務局へ直接持参されるか、FAXで申し込みください。

申込締切日：平成26年10月31日(金)必着 ※定員になり次第、締切り

●チャレンジ・ザ・バンク in 防府競輪場

住所・氏名・緊急連絡先・生年月日、及び持参自転車の車種(トラック・レーサー、ロード・レーサー、クロスバイク等)を記入して防府市体育協会事務局へ直接持参されるか、FAXで申し込みください。

申込締切日：平成26年10月31日(金)必着 ※定員になり次第、締切り

●第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

参加確定については、原則先着順とする。

【高体連】西日本地域の高体連登録チームへ派遣要請し、推薦者の中から選考する。

【学連】西日本地域の学連登録チームへ派遣要請し、推薦者の中から選考する。

【実業団】西日本地域の実業団チームへ派遣要請し、推薦者の中から選考する。

【府県車連】西日本地域の府県車連へチーム派遣要請し、推薦者の中から選考する。

申込締切日：平成26年10月24日(金)必着 ※定員になり次第、締切り

(申し込み先)

◎ ジュニア自転車体験教室、チャレンジ・ザ・バンクin防府競輪場

〒747-0808 防府市桑山2丁目1番1号 文化財郷土資料館3階

防府市体育協会事務局 担当:久保田

TEL 0835-23-4510 FAX 0835-25-5578

◎ 第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会について

〒754-0897 山口市嘉川4188番地 棟久方

山口県自転車競技連盟 担当:棟久(ムネヒサ)

TEL 090-5374-8498 FAX 083-989-2773

ジュニア自転車体験教室 講師

講師 山口県ジュニアサイクルスポーツクラブ指導者

その他

- (1) 大会参加に係る宿泊は、主催者が用意する。交通費は、各チームで負担すること。
- (2) 大会期間中に、主催者側からの斡旋弁当ないので、各自で用意すること。
- (3) オムニウム普及大会の宿泊場所等詳細は、参加確定後に別途通知する。
- (4) 防府競輪場では、事前の機材荷受及び保管は出来ない。
- (5) 競技中に発生した事故については、主催者が応急処置を行うが、参加者が自ら責任を負う。
- (6) 各自の責任において、賠償責任保険に加入するとともに、自身の傷害保険に加入のこと。
- (7) 参加者は、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則

本大会は、平成 26 年度版公益財団法人日本自転車競技連盟規則並びに、大会特別規則によって実施する。

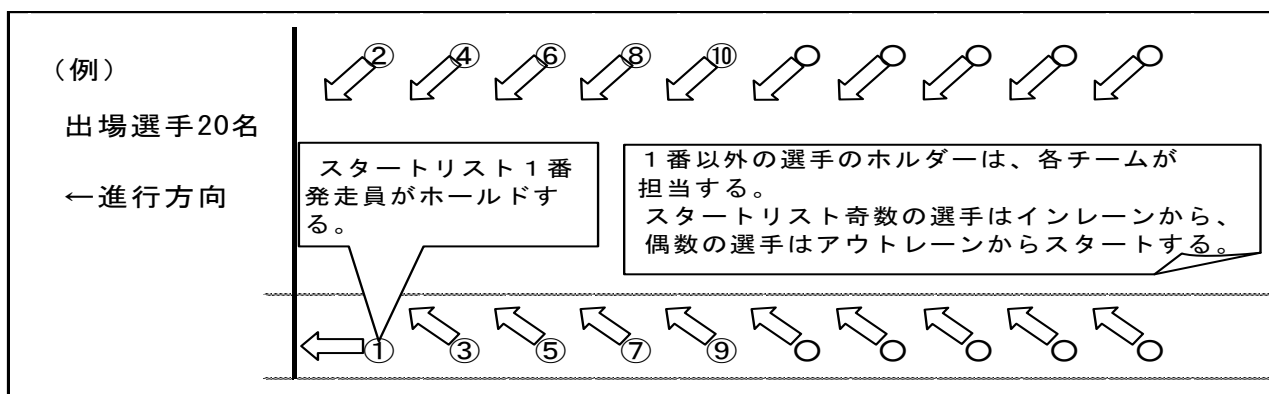
大会特別規則

第 1 条(フライング・ラップ)

- (1) フィニッシュラインから 1 周回 (333m) のタイム・トライアルで実施する。
- (2) 助走と計時周回を含む距離は、2.5 周回とする。
- (3) フライング・ラップの成績により、上位から「Aクラス」、「Bクラス」、「Cクラス」として種別を分けて、これ以降の種目を編成する。各種別の人数は、フライング・ラップ出走数の均等割りとする。
- (4) 出場選手のホルダーはチームで行なう。チームから出せない場合は、発走員に申し出ること。

第 2 条(ポイント・レース)

- (1) 認められる事故が起こった場合、4 周回のニュートラリゼーションを与える。ニュートラリゼーションを与えられた競技者は、最後の 3 周回の間トラックに戻ることはできないが、その時点で獲得または失っていた周回数とポイントにより順位づけられる。加えて、落車により復帰できなかった競技者に対しても同じ扱いとする。
- (2) 番号付きヘルメット・キャップを使用する。キャップ番号は、その時におけるオムニウム順位に基づくものとする。
- (3) スタート位置は下図例のように行う。1番選手以外のホルダーは各チームで行う。ヘルメット・キャップ1番から奇数番の選手はインレーンから、2番以降偶数の選手はアウトレーンからスタートする。ホイッスルの後、各チームのホルダーは競技役員の指示があるまで動かないこと。
- (4) 距離は、「Aクラス」24km、「Bクラス」20km、「Cクラス」16km とする。



第 3 条(エリミネーション)

- (1) 中間スプリントは、1 周回ごとにおこなう。
- (2) 番号付きヘルメット・キャップを使用する(ポイント・レースに準ずる)。
- (3) スタート位置は、ポイント・レースに準ずる。

第 4 条(インディビジュアル・パーシュート)

- (1) タイムのみを成績として考慮する。

- (2) スタートにはスターティング・マシンを使用する。
- (3) 距離は、「Aクラス」「Bクラス」3 km、「Cクラス」2 kmとする。
- (4) スタート位置の周長補正を実施し、計時する。

第5条(スクラッチ・レース)

- (1) ニュートラリゼーション、落車により復帰できなかった場合の処置については、ポイント・レースに準ずる。
- (2) 番号付きヘルメット・カバーを使用する。(ポイント・レースに準ずる)
- (4) スタート位置は、ポイント・レースに準ずる。
- (5) 距離は、「Aクラス」10km、「Bクラス」8km、「Cクラス」6kmとする。

第6条(タイム・トライアル)

- (1) ホーム・バックによる2者同時スタート方式を採用する。
- (2) スタートにはスターティング・マシンを使用する。
- (3) スタート位置の周長補正を実施し、計時する。

第7条(ギア比)

本大会のギア比制限を、7.93mとする。

第8条(賞典)

- (1) ジュニア自転車体験教室は、参加者へ記念品を授与する。
- (2) チャレンジ・ザ・バンク in 防府競輪場は、参加者へ記念品を授与する。
- (3) 第2回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会は、各種別の累積総合成績の1位から3位までに、メダル及び表彰状を授与する。

第9条(使用機材)

- (1) 競技規則第16条を遵守すること。身体形態的理由の場合でも事前に部品の交換等を行い規則に従うこと。
- (2) ヘルメットはJCF公認又はJKAの認めたヘルメットとする。公認エアロヘルメットは、フライング・ラップ、インディビデュアル・パーシュート、タイム・トライアルのみ使用を認める。練習での使用は認めない。

第10条(服装)

所属チームが(公財)日本自転車競技連盟及びその加盟団体に登録しているユニフォームを着用すること。

第11条(救急処置)

大会競技中の負傷疾病については、現場における応急処置は主催者で用意するが、以後の処置については参加者自身の責任によって行うこと。

第12条(その他)

- (1) カウントダウンは、ホーム、バックのどちらかの選手が自転車をスターティング・マシンに装着した段階で30秒のカウントダウンを開始する。
- (2) フィールド内での選手への指示は各チーム1名のみとし、ホーム側は第1コーナー付近、バック側は第3コーナー付近においてのみ認める。
- (3) 走路へのオイル付着による事故防止の観点から、トラック・レースでのウォームアップオイルの使用

用は禁止する。

第13条(表彰式)

表彰式の服装は、競技規則第26章とする。

第14条(異議申し立て)

競技に関わる裁定は、コミッセル・パネルの決定が最終であり、異議申し立てをすることはできない。

第24条(ボディ・ナンバー)

区 分		ボディ・ナンバー
トラック	Aクラス	白地に黒数字
	Bクラス	
	Cクラス	

ボディ・ナンバーの装着は下図のとおり、2枚とし、安全ピンで4箇所以上を固定すること(両面テープ等の使用は不可)。さらに、規定の大きさを縮小・変形させないこと。肩の番号は、トラック内側から番号が判別できるように装着すること。



山口国体開催記念サイクルフェスティバル

第3回西日本地域自転車競技オムニウム普及大会

チーム・競技者 推薦書

チーム名					
チームの所在地		〒			
チーム マネージャー (監督)	氏名				
	住所				
	資格	日体協指導者 ・ JCF競技者 ・ JCF審判員 ・ JCFチームメンダント ※上記いずれかに○で囲んでください。			
	連絡先	Tel		Fax	
	e-mail				
		氏名	登録番号	主な競技歴・申請タイム	
推薦する競技者					

上記の者を、標記大会出場について推薦する事を認めます。

平成 26年 月 日

チーム名

代表者

印